

Journal of Socio-Cultural Studies

Memoirs of Faculty of Law and Literature, Shimane University

No.19

2023

On the Occasion of the Retirement of Professor FUKINO Takashi & OBINATA Katsumi

■Articles

- Formation and Honoring of Nomi-Sukune Tradition Site
..... OBINATA Katsumi 1
- Global Warming as a Social Problem FUKINO Takashi 21
- Behaviors, Desires, and Perceptions of Others in Adolescent Friendships
..... MATSUO Kimiko, MURASE Toshiki 35

■Research Note

- Current Status and Issues of Appraisal and Selection of Municipal 'Archival'
Records: A Questionnaire Survey of Municipalities with its Archives
..... KIYOHARA Kazuyuki, MAIGUMA Koichi, KOBAYASHI Junji 47

■Documents

- New example of Triangular-rimmed mirrors displaying animals and divinity
motifs and "Mirrors produced from the same mold" IWAMOTO Takashi 67

■Translation

- Production and Distribution of Stone Daggers with Exaggerated Hilts
..... LEE, Jongcheol (Translation by HIRAGORI Tatsuya, MORI Takanori) 73

■Documents (printed lengthwise)

- Records of the trial between Shima Ishizaki, a Shinto priest, and Nisso,
a monk of Myokoji Temple, a temple of the Nichiren sect,
in Oda Minami Village, Iwami Province. KOBAYASHI Junji 1

Faculty of Law and Literature, Shimane University

社
会
文
化
論
集

第
十
九
号

島
根
大
学
法
文
学
部

社会文化論集

島根大学法文学部紀要 社会文化学科編

第 19 号

2023

吹野 卓 教授・大日方 克己 教授 退職記念号

■論文

- 野見宿禰伝承地の形成と顕彰 大日方克己 1
- 社会が抱える問題としての地球温暖化 吹野 卓 21
- 青年期の友人関係における行動・欲求・他者認知
..... 松尾紀美子・村瀬 俊樹 35

■研究ノート

- 自治体公文書の評価選別に関する現状と課題
—公文書館等設置自治体へのアンケート調査から—
..... 清原 和之・毎熊 浩一・小林 准士 47

■資料紹介・報告

- 「仿製」三角縁神獣鏡の新例と「同範鏡」 岩本 崇 67

■翻訳

- 柄部誇張式石剣の生産と流通
..... 李 宗哲 (訳: 平郡 達哉・森 貴教) 73

■資料紹介・報告 (縦組)

- 「石州大田南村神職石崎志摩・同所日蓮宗妙光寺隠居日荘出入公訴一件写」の翻刻
..... 小林 准士 1

島根大学法文学部

<執筆者紹介>

- 大日方 克 己 (社会文化学科 日本史学)
吹 野 卓 (社会文化学科 社会学)
松 尾 紀美子 (法文学部 卒業生)
村 瀬 俊 樹 (人間科学部 心理学)
清 原 和 之 (社会文化学科 アーカイブズ学)
毎 熊 浩 一 (法経学科 行政学)
小 林 准 士 (社会文化学科 日本史学)
岩 本 崇 (社会文化学科 考古学)
李 宗 哲 (韓国全北大学校 考古学)
平 郡 達 哉 (社会文化学科 考古学)
森 貴 教 (新潟大学 考古学)

2023年3月16日印刷

2023年3月20日発行

発行者 島根大学法文学部社会文化学科

〒690-8504 松江市西川津町1060

TEL (0852) 32-6195

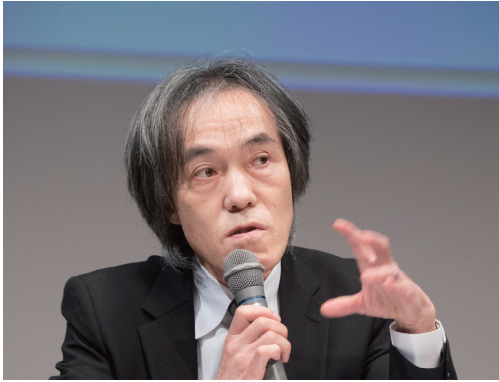
社会文化論集編集委員会

岩 本 崇

猿 渡 壮

印刷所 (株)報光社

〒691-0001 島根県出雲市平田町993



大日方 克己 教授

〔主な経歴〕

1957年12月 長野県に生まれる

1981年3月 埼玉大学教養学部教養学科卒業

1983年3月 東京都立大学大学院人文科学研究科修士課程史学専攻修了

1988年3月 東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程史学専攻単位取得退学

1995年3月 博士（史学）（東京都立大学）

1990年10月～1992年3月 日本学術振興会特別研究員（東京大学史料編纂所）

1984年4月～1997年3月 東京都立大学、都立高等学校、私立中学校高等学校等の非常勤講師

1997年4月 島根大学法文学部助教授

2000年10月 島根大学法文学部教授

2023年3月 同 退職

〔主な業績〕

1. 「宮久保木簡と田令・郡稻長」 神奈川県地域史研究会編『宮久保木簡と古代の相模』、有隣堂、1984年12月
2. 「律令国家の交通制度の構造」『日本史研究』269、1985年1月
3. 「造石山寺所と儀礼・祭祀・年中行事」『日本歴史』467、1987年4月
4. 「駒牽の基礎的考察」『古代史研究』6、1987年11月
5. 「平安時代の御馬通送」『交通史研究』19-9、1988年3月
6. 「古代における国家と境界」『歴史学研究』613、1990年1月
7. 「信濃の牧と駒牽」小林達雄・原秀三郎編『新版古代の日本7中部』、角川書店、1993年1月
8. 『古代国家と年中行事』、吉川弘文館、1993年9月
9. 「古代における国境の形成と日本」『歴史評論』555、1996年7月
10. 「武蔵国の牧と平将門の乱」『上福岡市史通史編上 自然・原始古代・中世・近世』、上福岡市、2000年3月
11. 「日本・渤海間の交通と山陰諸国」『社会システム論集』5、2000年12月
12. 「宣明暦と日本・渤海・唐をめぐる諸相」佐藤信編『日本と渤海の古代史』、山川出版社、2003年5月
13. 「古代国家の展開と出雲・石見・隠岐三国」『島根県の歴史』、山川出版社、2005年4月
14. 「暦と生活」、平川南・沖森卓也・栄原永遠男・山中章編『文字と古代日本4 神仏と文字』吉川弘文館、2005年10月
15. 「吉備真備—伝説の右大臣」栄原永遠男編『古代の人物3 平城京の落日』、清文堂、2005年12月
16. 「家司受領藤原行房と出雲国正税返却帳」『社会文化論集』4、2007年12月
17. 『古代国家と年中行事』(学術文庫)、講談社、2008年2月
18. 「承安四年、最後の相撲節」『本』33-3、2008年3月
19. 『「出雲国正税返却帳」を中心とした平安時代中期財政と公文勘会の研究』(2005～2007年度科学研究費(基盤研究(C))研究成果報告書)、2008年3月
20. 「平安後期の出雲国司—白河・鳥羽院政期を中心に」『山陰研究』1、2008年12月、
21. 「吉備真備の遺蹟と歴史意識—近世備中地域を中心に」『社会文化論集』5、2009年3月
22. 「院政期の王権と相撲儀礼」『古代文化』61-3、2009年12月
23. 「岸崎佐久次と『出雲風土記抄』」『社会文化論集』6、2010年3月
24. 「長元四年の杵築大社顛倒・託宣事件—平安時代の出雲、杵築大社と受領をめぐる」芦田耕一・原豊二編『出雲文化圏と東アジア』(アジア遊学135)、勉誠出版、2010年7月
25. 「九条家本延喜式紙背の国衙関係文書と国司」『社会文化論集』7、2011年3月
26. 「雲州本延喜式と藍川慎・屋代弘賢・埴保己一」『日本歴史』762、2011年11月
27. 『諸国公文・財政文書と受領の基礎的研究』(2009～2011年度科学研究費(基盤研究(C))研究成果報告書)、2012年3月
28. 「天皇・朝廷の年中行事—一年中行事認識の成立と展開」遠藤基郎編『生活と文化の歴史学2

- 年中行事・神事・仏事』、竹林舎、2013年3月
29. 『松江市史史料編3 古代・中世1』(共著)、松江市、2013年3月
 30. 「古代出雲の世界」『『出雲風土記抄』の歴史意識』島根大学編『神話・青銅器・たたら』、今井書店、2013年8月
 31. 「日本古代における弩と弩師」『社会文化論集』10、2014年3月
 32. 『翻刻桑原家本『出雲風土記抄』』『山陰研究』別冊7、2015年3月
 33. 「雲州本『延喜式』の校訂と藍川慎」『社会文化論集』11、2015年3月
 34. 「『出雲国風土記』と斐伊川をめぐる歴史」、島根大学「斐伊川百科」編集委員会編『ワールドで学ぶ斐伊川百科』、今井書店、2015年3月
 35. 「平安前期の出雲・山陰—東アジア世界・災害・律令制の展開」
松江市史編集委員会編『松江市史通史編1 自然環境・原始・古代』、松江市、2015年3月
 36. 「平安中期の出雲・山陰—古代国家の変容と地域—」松江市史編集委員会編『松江市史通史編1 自然環境・原始・古代』、松江市、2015年3月
 37. 「『出雲国造家』の成立過程」洋泉社編『古代史研究の最前線 古代豪族』、洋泉社、2015年9月
 38. 「出雲風土記抄の諸本—島根大学附属図書館所蔵の桑原本・望月本・神田本を中心に」『淞雲』18、2016年2月
 39. 「日本・渤海関係のなかの音楽—渤海楽と高内弓・板振鎌束をめぐって」『社会文化論集』14、2017年3月
 40. 「『出雲国風土記』の交通路と杉沢遺跡」出雲市市民文化部文化財課編『出雲国古代山陰道発掘調査報告書 出雲市三井Ⅱ・杉沢・長原遺跡の調査』、出雲市教育委員会、2017年3月
 41. 「本居宣長・小篠敏ネットワークのなかの『出雲風土記抄』」『社会文化論集』14、2018年3月
 42. 「往生伝」佐藤信・小口雅史編『古代史料を読む』下、同成社、2018年6月
 43. 「不堪佃田奏にみる政務・儀式・年中行事」仁藤敦史編『古代文学と隣接諸学3 古代王権の史実と虚構』、竹林舎、2019年2月
 44. 『出雲に來た渤海人』(松江市ふるさと文庫22) 松江市歴史まちづくり部史料編纂課、2019年3月
 45. 「奈良・平安期の通送・供給—その展開と国家・地域社会—」佐々木虔一・武廣亮平・森田喜久男編『古代の道路と輸送』、八木書店、2019年5月
 46. 「出雲風土記抄の成立と諸本」島根県古代文化センター編『影印出雲風土記抄(雲州風土記)』、島根県教育委員会・ハーベスト出版、2021年3月
 47. 「だれが歴史学を学ぶのか、何のために歴史学を学ぶのか」『歴史評論』859、2021年10月
 48. 「山陰地域古代交通研究の現状と課題」『古代文化』73-3、2021年12月
 49. 「近代教科書と再話される『国引神話』」『社会文化論集』18、2022年3月
 50. 『古代山陰と東アジア』、同成社、2022年4月
 51. 「古代の出雲—出雲大社、風土記、そして境界への認識」吉村武彦・川尻秋生・松木武彦編『シ

- リーズ地域の古代日本—出雲・吉備・伊予』（角川選書）、KADOKAWA、2022年8月
52. 「内山真龍の出雲国踏査—『出雲日記』『弥久毛乃道草』『筑紫日記』の整理—」『山陰研究』
15、2022年12月
53. 「野見宿禰伝承地の形成と顕彰」『社会文化論集』19、2023年3月



学会発表で訪れたトルコにて



島根大学オープンキャンパスにて

吹野 卓 教授

〔略 歴〕

- 1977年4月 関西学院大学社会学部入学
- 1981年3月 関西学院大学社会学部卒業（社会学士）
- 1981年4月 （株）大和銀行 行員（1984年1月まで）
- 1984年4月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程入学
- 1986年3月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程修了
（社会学修士）
- 1986年4月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程後期課程入学
- 1989年3月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程後期課程単位取得後退学

- 1990年4月 吉備国際大学社会学部講師（1995年3月まで）
- 1995年4月 吉備国際大学社会学部助教授（2000年3月まで）

- 2000年4月 島根大学法文学部助教授（2004年3月まで）
- 2004年4月 島根大学法文学部教授（2018年3月まで）
- 2018年4月 島根大学学術研究院人文社会科学系教授 配置転換
- 2023年3月 同 退職

〔主な役職〕

法文学部長，副学部長，島根大学教育研究評議会議員，社会文化学科長など。

〔研究業績〕

〔著書〕

1. 『現代中国国有企業』（共著），白桃書房，1997年。
2. 『現代中国国有企業Ⅱ』（共著），白桃書房，1999年。
3. 『島根の原発・エネルギー問題を問い直す』（共著），今井書店，2016年。

〔論文〕

1. 「組織構造の比較研究における技術概念」『関西学院大学社会学部紀要』57号，121-132頁，1988年。
2. 「漁業における乱獲の数理モデル—再生産を伴う資源と社会的ジレンマ—」（共著），『理論と方法』4巻1号，93-116頁，1989年。
3. 「日本の雇用制度の集団安定性」『関西学院大学社会学部紀要』60号，157-166頁，1989年。
4. 「環境保護のための国際協力体制の組織化—数理社会学からの視座—」『吉備国際大学開学記念論文集：国際社会学研究の視座』67-78頁，1990年。
5. 「中国の工場における従業員と賃金改革の影響—アンケート調査より—」『吉備国際大学研究紀要』第2号，129-141頁，1992年。
6. 「利得構造と異質性が協調率に及ぼす影響」『社会的ジレンマに関する数理社会学的研究』（科研報告書），126-139頁，1993年。
7. 「中国国营企業の賃金改革後の変化—従業員アンケート調査の時系列的分析—」『吉備国際大学研究紀要』第5号，149-157頁，1995年。
8. 「漁業における密漁の諸類型」『吉備国際大学社会学部研究紀要』第6号，191-200頁，1996年。
9. 「中国国有企業の報酬制度改革—従業員の視座からの現状—」『吉備国際大学社会学部研究紀要』第7号，115-127頁，1997年。
10. 「中国国有企業における福利厚生業務の改革」『吉備国際大学社会学部研究紀要』第8号，129-137頁，1998年。
11. 「中国国有企業における工具採用権行使の事例研究」『吉備国際大学社会学部研究紀要』第9号，35-47頁，1999年。
12. 「中国国有企業における全員労働契約制—余剰労働力問題から見た事例研究—」『吉備国際大学社会学部研究紀要』第10号，29-45頁，2000年。
13. 「中国国有企業における大幅人員削減の事例研究」『社会システム論集』第5号，41-57頁，2000年。
14. 「中国国有企業における新たな賃金制度改革の試み」『社会システム論集』第6号，51-64頁，2001年。
15. 「中国の国有企業組織における外部市場化の動き」『社会システム論集』第7号，97-109頁，2002年。

16. 「ペアデータを用いた夫婦間意志決定プロセスの分析」(共著), 『島根大学法文学部紀要: 社会文化論集』第2号, 29-41頁, 2005年.
17. 「高校『情報』教育が大学教養教育『情報』へ及ぼす影響—アンケート調査に基づく一考察—」(共著), 「生涯学習教育センター研究紀要」第4号, 1-9頁, 2006年.
18. 「語られた『生き甲斐』の構造—中山間地域調査における自由回答の数量的分析—」(共著)『社会文化論集』, 第3号, 15-27頁, 2006年.
19. 「農村家族における結合パターンに関する数量的分析—島根県中山間地域での調査データを用いて—」(共著), 『社会文化論集』, 第4号, 31-39頁, 2007年.
20. 「限界集落に生きる人々の『語り』の共有化の試み」(共著), 『山陰研究』第4号, 1-25頁, 2008年.
21. 「性別役割規範と家族内での葛藤解決方法」『農山漁村における家族ライフスタイルについての実証的研究—2008年度調査研究報告書』36-42頁, 2009年.
22. 「家族ライフスタイルの多様化への許容性についての分析」(共著), 『社会文化論集』第6号, 37-51頁, 2010年.
23. 「性別役割意識構造の国際比較研究についての考察」(共著), 『社会文化論集』第7号, 85-94頁, 2011年.
24. 「過疎集落における『共感』形成へむけた試み—聞き書き文集という方法について—」(共著), 『島根大学法文学部紀要: 社会文化論集』第8号, 15-24頁, 2012年.
25. 「性別役割規範システム把握に向けての方法論的検討—国際比較研究を目指して—」(共著), 『島根大学法文学部紀要: 社会文化論集』第9号, 49-60頁, 2013年.
26. 「原子力発電に対する賛否規定要因の性別特性についての分析」(共著), 『山陰研究』第7号, 1-14頁, 2014年.
27. 「『高齢者の生きがい』再考—生きがいのもう一つの視点—」(共著), 『生きがい研究』第20号, 37-51頁, 長寿社会開発センター, 2014年.
28. 「原発に対する意識と性別役割規範」(共著)『島根大学法文学部紀要法経学科篇: 経済科学論集』第40号, 45-56頁, 2014年.
29. 「性別役割規範の担い手の分節状況についての考察—国際比較研究を目指して—」(共著)『島根大学法文学部紀要: 社会文化論集』第10号, 1-8頁, 2014年.
30. 「島根原子力発電所立地地域住民の原発に対する意識の分析」(共著), 『山陰研究』第8号, 37-46頁, 2015年.
31. 「性別役割規範システムの国際比較研究—トルコ・日本・アメリカの大学生調査より—」(共著), 『島根大学法文学部紀要: 社会文化論集』第13号, 21-30頁, 2017年.
32. 「地方の進学希望高校生の転出意識—生徒と保護者のペアデータの分析」(共著), 『島根大学法文学部紀要: 社会文化論集』第16号, 1-10頁, 2020年.
33. 「コロナ禍と家族実践—島根県松江市で実施した意識調査の結果から—」(共著), 『島根大学法文学部紀要: 社会文化論集』17号, 1-10頁, 2021年.
34. 「山間地高校生の定着と移動に関する意識」(共著), 『山陰研究』15号, 59-71頁, 2023年.